

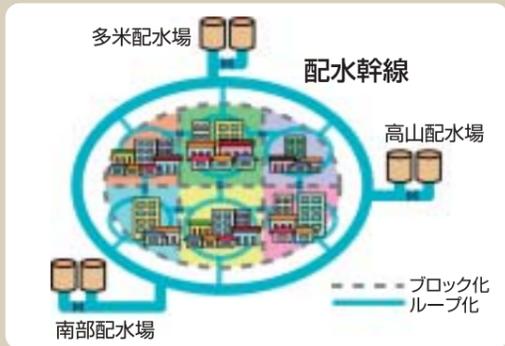
大地震直後3日間の命の水を考えよう!!

1 今日から出来る「もしも」のときの備え

Q 地震が起きる前の準備は?

家庭では
水の備蓄状況、家族の集合場所、避難所、役割分担などを確認し、家族でよく話し合っておきましょう。
また、日頃から近所付き合いを大切にしましょう。

豊橋市上下水道局では
水道の災害時における断水時間短縮や復旧作業を迅速に行う対策として、多米・高山・南部の主要配水場からの配水幹線を相互に接続（ループ化）し、また、配水区域ごとに圧力調節弁や仕切弁を設置（ブロック化）しています。



〈配水のブロック化・ループ化のイメージ図〉

Q 飲料水を確保するには?

家庭では
非常用飲料水として、日頃から専用の容器で水道水を確保し、3日おきに入れ替えましょう。飲料水は1人1日3ℓを目安とし家族の人数分を確保しましょう。

非常用飲料水は各自で備蓄する習慣を



豊橋市上下水道局では
多米、高山、南部の主要配水場に貯水量10,000㎡の配水池が各2池あり、大規模地震が発生した場合、全市民が最低限必要とする水を約7日分確保できます。



〈高山配水場〉

2 上下水道の応急対策は

Q 断水だ。給水場所はどこ?

家庭では
応急給水場所は、地区・校区市民館（70箇所）などの指定避難所です。また、広域避難場所を始め18箇所には「飲料水兼用耐震性貯水槽」を整備し、災害直後の消火用や非常用飲料水の確保に努めています。最寄りの応急給水場所を確認しておきましょう。

豊橋市上下水道局では
耐震性貯水槽は、常に新しい水道水が循環しており、緊急時には配水管と遮断し、飲料水を確保し給水に備えます。また、給水車は、緊急度の高い所で応急給水を行います。

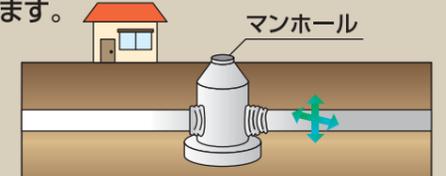


〈飲料水兼用耐震性貯水槽〉

Q 汚水は流していいの?

家庭では
下水道は、使用できますが地震による被害状況がわかりにくい施設ですので、復旧情報に注意しましょう。下水道を利用している方は、汚水を流したとき自宅内や道路のマンホールで汚水があふれ出ることもあります。浄化槽を利用している方は、停電中は汚水の浄化ができません。汚水が水路にそのまま流れ出るためトイレ等の使用はできるだけ控えましょう。

豊橋市上下水道局では
下水道の施設は、マンホールと下水道管の継ぎ手部の耐震性強化及び下水処理場の耐震化を行っています。しかし、大部分が地下にあるため、いったん被害が発生すると復旧までに長期間必要になります。



〈耐震性強化のイメージ図〉

東海・東南海地震 被災直後から3日間の水をどうする

地震の被害想定 市内の建物の33%が全半壊（豊橋市地震被害予測調査報告書から：平成16年3月）

ライフラインの被害想定 水道……市内の半数強で断水。（応急復旧までに1か月を要する。） 都市ガス……全域供給停止。（応急復旧までに1ヶ月を要する。） 電気……市内の2割弱で停電。（応急復旧までに1週間を要する。）

地震からの経過日数	1日目 ~ 2日目	3日目
水の確保 断水になった! 	身の安全を確保し、断水になる前に水道水を容器（やかん、バケツなど）に溜めましょう。保存してある水を確認しましょう。	他市からの応急給水支援開始。応急給水量が増えます。応急給水場所までの距離と水の重さを考えましょう。（水は1ℓで1kgです。）
水の使い方 無駄な水はありません! 	飲み水を最優先しましょう。衛生面への使用は控えましょう。水道、ガス、電気の使えない不便な生活となります。	入浴はまだできません。体はぬれタオルで拭きましょう。洗濯は洗剤を使うと水がたくさんいるので、水洗いのみで節水しましょう。
被災者の声!! 阪神・淡路大地震の教訓から 	<ul style="list-style-type: none"> お風呂の水をトイレなどに使用し、なくなったら水をもらいお風呂にためて使用していました。 ポリタンクが給水場での水汲みに役立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ポリ袋は防寒にも使えるし、給水タンクの代わりにもあり、汚物処理にも使いいろいろ代用が利く。 給水するとき、ポリタンクをのせて運ぶ台車が便利で楽だった。